

サクセスホールディングス株式会社

～保育事業参入の草分け～

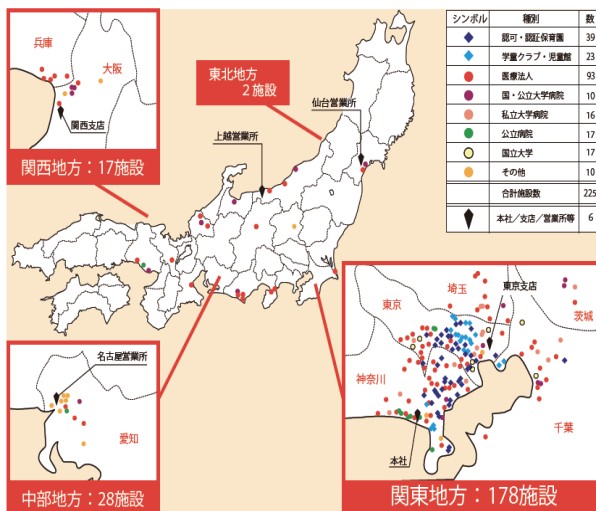
事業内容	事業所内保育施設の受託運営、認可保育などの運営				
本社所在地	神奈川県藤沢市鶴沼石上1-1-1 藤沢リラビル3階	URL	http://www.success-holdings.co.jp/		
設立年	2010年	株式公開年	2012年	市場名	JASDAQ (2013年4月24日付で東証二部に市場変更)
資本金(2012年12月末現在)	285百万円				
売上高(2012年12月期)	7,248百万円				
従業員数(2012年12月現在)	臨時含め2,538人				
ファンド事業	ベンチャーファンド出資事業				
同社に投資を行った出資先ファンド名(無限責任組合員名)	ゆめファンド4号投資事業有限責任組合 (横浜キャピタル株式会社)				

当社概要

■保育事業参入の草分け

同社の事業子会社であるサクセスアカデミーは、民間企業による保育事業参入の草分け的存在だ。病院、大学、企業などの保育施設の運営を受託する「受託保育事業」と、認可・認証保育園などを運営する「公的保育事業」を両輪とし、全国でそれぞれ163カ所、62カ所(平成25年6月期末時点)の施設を運営。右肩上がり業績を伸ばしてきており、業界で五指に入る規模を誇る。

■当社グループ運営施設一覧(平成25年6月30日現在)



合計:225施設 (受託保育事業:163箇所・公的保育事業:62箇所) 1

創業の経緯

■30代からの起業

サクセスホールディングスの創業者で代表取締役の柴野豪男氏。彼は当時税理士を目指して会計事務所で働いていたが、実業家の道へと方針転換したのは30歳頃の事だ。すでに結婚して子供もいたが、自宅マンションを売却してフランチャイズ(FC)加盟金を捻出し、学習塾経営に乗り出した。だが、FC本部はまともな経営指導をしてくれなかったので独学で学習塾を運営。平成元年にサクセスアカデミーを設立し、神奈川県下で自ら学習塾をFC展開するまでになった。

ところが、「神奈川県方式」と呼ばれるアチーブメントテスト主体の高校入試制度が廃止されることになり、地元の学習塾の優位性がなくなってしまった。「駅前に大手資本の予備校の看板が立つのを見て、もう勝てないなと思いましたが」と柴野氏は振り返る。

■学習塾から保育事業へ

そんな折、英米での生活を経て帰国した人から、「日本語と英語の両方を話せるベビーシ

ッターを探してほしい」と依頼されたのが、保育事業進出へのヒントとなった。平成3年のことで、ちょうどバブル経済の最盛期。優秀な人材を職場につなぎとめておくために、企業などが事業所内に保育施設を設置する動きが出始めていた。

そこで、保育施設の受託運営プランを作り、神奈川県内の大手企業や病院、ゴルフ場など女性の多い職場にダイレクトメールを送ると、藤沢市の病院が第1号の顧客になってくれた。病院側としても、ちょうど保育施設設置を検討し始めたところで、渡りに船のタイミングだったようだ。地元での信頼が厚い病院だったので、「あの病院から受託しているのなら」と評価され、その後も順調に受託先を増やすことができた。

IPO を目指し、VC を活用

■VC による外部資本の導入

「起業したからには、IPO で会社を社会の公器にするのが経営者の使命」と語る柴野氏は、早くから株式公開を目指してきたという。平成16年にベンチャーキャピタル（VC）のジャフコと、ベビー用品メーカーのコンビの子会社であるコンビチャチャ（現コンビウィズ）が出資、社外からの資本を受け入れた。

その後、平成17年にコンビウィズに代わって三井物産が資本参加。同時に、横浜キャピタルが運営し、中小機構が40%を出資する投資事業有限責任組合「ゆめファンド4号」の投資も受け入れた。横浜キャピタルは、柴野

氏がかつて資金繰りに困った時に、それまで取引がなかったのにもかかわらず快く融資を引き受けてくれた横浜銀行の子会社だ。

IPO による経営効果

■VC と二人三脚で成長

「IR（投資家向け広報）活動などを通じて、当社が受託保育施設を24時間体制で運営していることなどが広く知られるようになり、上場後多くのお問い合わせをいただきました」サクセスホールディングスは平成24年8月7日にJASDAQ（ジャスダック）に、平成25年4月24日には東証二部へ上場した。柴野氏は今、IPOのメリットを実感している。

「横浜キャピタルなどの担当者は、『サクセスさんが成長するためには何が必要かを常に考えています』と言って、提携先の紹介などをしてくれる。経営の視野が広がり、急成長できたのは彼らのおかげです」。柴野氏は、VCなどの株主が果たした役割を高く評価する。

同社による保育施設



【プロフィール】

サクセスホールディングス株式会社

代表取締役 柴野 豪男

《しばの・たけお》(写真中央)

上智大学経済学部卒。

会計事務所勤務を経て、学習塾経営で独立。平成元年12月サクセスアカデミーを設立、代表取締役に就任。

22年11月持ち株会社制に移行するためサクセスホールディングスを設立し、代表取締役就任。

神奈川県出身、58歳。



「人から“ありがとう、と言われるサービスを提供」を
経営理念に掲げる柴野豪男代表取締役（写真中央）

《ベンチャーキャピタルの声》

【資金調達が容易に】

■当社について

出産後も働く女性が増え、待機児童問題が深刻化しているだけに、事業所内での保育サービス受託や認可・認証保育園の経営は、時代に即した社会的要請の強い事業だ。サクセスホールディングスは、民間企業の先頭に立ってこの市場を新しい切り口で開拓してこられたので、将来性の豊かな企業だと判断し、投資させていただいた。

■横浜キャピタルからの支援

横浜キャピタルには、上場支援の経験が豊富な社員が多く、上場するのに必要となるさまざまな課題の対応について、「これは大事だ」とか「これはそうでもない」などと本音ベースでアドバイスができる。同社に対しても、上場支援の面でお役に立てたと思う。また、横浜銀行とともに顧客企業の紹介など情報提供もさせていただいている。

■今後について

横浜キャピタルは横浜銀行グループの一員として、主に神奈川県と東京南西部を拠点とする成長性のある企業の発展を支援することを目的としている。昭和59年の設立以来、投資先のうち106社がIPO（新規株式公開）を果たした。投資資金回収後も、同社は地元の有力企業であることに変わりはなく、ますます発展してほしいと願っている。

米国などと比べて日本はまだまだベンチャーが少ない。リスクをとって心血を注いだビジネスがIPO等の形で実を結ぶという事例をもっと増やしていきたい。



横浜キャピタル(株) 代表取締役社長

高橋 啓生 氏

この事例は弊機構発行の施策普及紙「中小企業振興」新聞2013年4月15日号に掲載した取材記事をもとに作成したものです。従いまして、現在の事業内容等と異なる場合がございますので、予めご了承下さい。